

**製品名: ALK マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM81737**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	ICC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	ICC 1:50-1:250,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	176kDa

**抗原情報**

遺伝子名	ALK
別名	CD246; NBLST3
遺伝子 ID	238.0
SwissProt ID	Q9UM73
免疫原	大腸菌で発現したヒト ALK (AA: 1366-1468) の精製された組み換え断片。

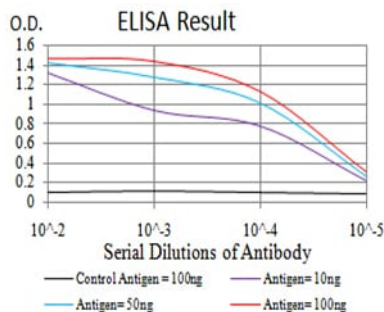
**背景**

この遺伝子は、インスリン受容体スーパーファミリーに属する受容体チロシンキナーゼをコードしています。このタンパク質は、細胞外ドメイン、1回膜貫通領域に相当する疎水性領域、および細胞内キナーゼドメインで構成されています。脳の発達に重要な役割を

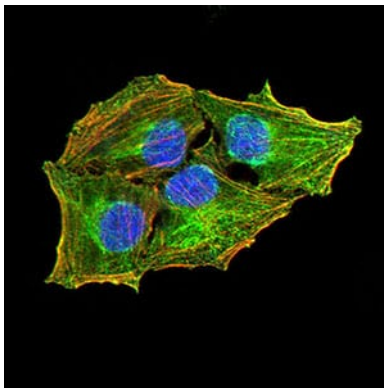
果たし、神経系の特定のニューロンに作用を及ぼします。この遺伝子は、未分化大細胞リンパ腫、神経芽腫、非小細胞肺癌など、一連の腫瘍において再構成、変異、または増幅が認められています。この遺伝子における最も一般的な遺伝子変化は染色体再編成であり、腫瘍形成において ALK (染色体 2)/EML4 (染色体 2)、ALK/RANBP2 (染色体 2)、ALK/ATIC (染色体 2)、ALK/TFG (染色体 3)、ALK/NPM1 (染色体 5)、ALK/SQSTM1 (染色体 5)、ALK/KIF5B (染色体 10)、ALK/CLTC (染色体 17)、ALK/TPM4 (染色体 19)、および ALK/MSN (染色体 X) を含む複数の融合遺伝子が生成されます。

## 研究分野

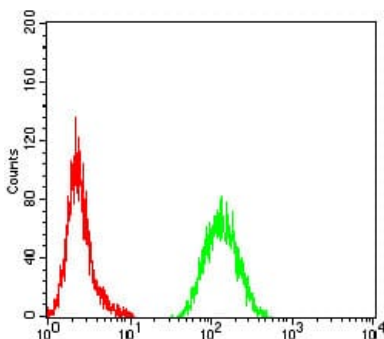
## 画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



ALK マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



ALK マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。